

火山活動から国土を守る

～国有林内の火山地域における治山事業について～

世界には約1,500の活火山がありますが、その内111火山が日本にあり、我が国は世界有数の火山大国といえます。

これらの火山は、ひとたび噴火すれば、土石流や火山泥流等が発生し、下流に被害を及ぼすことが懸念されるため、全国各地の火山周辺の国有林内でも、国による直轄治山事業を行っていますので、その中から代表的な事例をご紹介します。

林野庁は、引き続き、国土交通省、気象庁、地方自治体等と連携しながら、火山災害の予防・復旧を継続的に行之、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



新潟焼山 噴火の様子(昭和49年)

②新潟焼山(標高2,400m)

火山活動を開始したのが約3,000年前と、比較的若い活火山。

最近では昭和49年に噴火。同年より治山事業に着手し、主に治山ダムによる土石流対策を進めています。また、土石流センサーを設置し、土石流が発生した際には糸魚川消防本部等に自動通報する体制をとっています。



平成13年から平成29年にかけて整備した治山ダム群



治山ダムに設置した土石流センサー

①有珠山(標高737m)

20世紀中に4度も噴火が観測された活発な活火山。

最近では平成12年に噴火し、噴石・泥流等によって洞爺湖温泉街に被害を及ぼしました。

このため、再度の災害を防止・軽減するための治山ダムや、森林の復旧のための山腹工を行いました。



有珠山 噴火の様子(平成12年)



整備した治山ダム群及び山腹工(平成19年)

③雲仙・普賢岳(標高1,483m)

雲仙岳を主峰とする火山群。

平成2年に噴火し、平成3年には大規模な火砕流が発生。森林の消失や火山噴出物の堆積により、再度の災害の危険が高まったため、平成4年より治山事業に着手し、平成25年までの間、集中的に事業を行っています。特に、ヘリコプターによる417haもの航空緑化工は前例の無い大規模なものであり、当地区での施工実績がその後の航空緑化工の発展に大きく寄与することになりました。



雲仙・普賢岳 火砕流発生後の様子(平成3年)



航空緑化工施工の様子



緑化の状況(平成12年)



洞爺湖町付近の復旧状況(平成23年)

	火山名	所在地	主要事業量(平成30年度末時点)
①	有珠山	北海道伊達市、洞爺湖町、 そうへつ 壮瞥町	治山ダム1,003基、山腹工140ha
②	新潟焼山	新潟県糸魚川市、妙高市	治山ダム41基
③	雲仙・普賢岳	長崎県島原市、南島原市	航空緑化工417ha、治山ダム56基